



■ 動画/静止画

動画撮影または静止画撮影(取込)によるArU-code解析ができます。

■ ID編集

IDに対する紐付け情報を変更することで
ArU-code認識時に表示される文言を設定できます。
また、捜したい対象物を設定できます。

< 戻る

動画

静止画

Q search...

色変更

[全選択/解除](#)

色変更	ID	表示名
<input type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	2	2
<input type="checkbox"/>	3	3
<input type="checkbox"/>	4	4
<input type="checkbox"/>	5	5
<input type="checkbox"/>	6	6
<input type="checkbox"/>	7	7
<input type="checkbox"/>	8	8
<input type="checkbox"/>	9	9
<input type="checkbox"/>	10	10
<input type="checkbox"/>	11	11
<input type="checkbox"/>	12	12
<input type="checkbox"/>	13	13

■ 色変更

チェックボックスにレ点を入れることで、該当するIDを認識した際に、色、音、振動で発見を検出できます、

■ ID

ArU-codeのIDです。

■ 表示名

認識時に画面上に表示されるIDの表示名です。編集することができます。

■ seach(検索窓)

該当するテキストを入力することでID、表示名の両検索ができます。



■ アプリケーション設定

数量カウントモード

ONにすると、認識したIDと数量を確認できます。
チェックマークをつけたIDのみのカウントも可能です。

カメラモード設定

利用シーンごとに、おすすめのカメラ設定を選択できます。

- ・ パフォーマンス重視：動きを伴う利用におすすめ
- ・ バランス重視：動きが少ない利用におすすめ
- ・ お気に入り：手動で設定したの記録

ISO値

ISO値が調整できます。
上げるほど対象物を明るく映せます。

シャッタースピード

シャッタースピードの値が調整できます。

カメラ解像度設定

背面カメラ/前面カメラの解像度を変更できます。
上げるほど画質はよくなりますが、CPUへの負荷は上がります。

描画設定

画面上での最大解析数、コード枠線の太さ、フォントサイズを変更できます。
チェックマークをつけたIDのみ、文字を表示させることも可能です。

● トラブルシューティング

ArU-codeが正常に認識できないときに上からお試しく下さい。

1. コードが欠損していませんか（白飛び、汚れ、隠れなど）

【対策】撮影角度の調整、コードの再発行

2. 近づいてみても認識できませんか

【対策】印字に問題がないか確認

3. フォーカスは合っていますか

【対策】認識画面右下の[AUTO/MANUAL]ボタンでフォーカス設定を変更

4. 肉眼で見た時と同じくらいカメラ画面が明るくありませんか

【対策】設定→ISO値 からISO値を調整

5. 認識対象は動いていますか

【対策】設定→カメラモード設定 から「パフォーマンス重視」を選択
また、シャッタースピードを調整